

三井 新成 議員

観光産業の在り方について

- ▶ オープンミーティングにより
町民の観光に関する要望とは

富士見町の長期の観光ビジョンをつくり、観光戦略を作り上げる必要性を求めています。多くの集客が期待されるイベントや大会が、町民に周知されず、大勢の町民の協力をいただける状態にない。戦略的な広報と、リゾートとの協調を双方で考え、地域に愛されるトータルなりゾート運営が必要である。魅力ある自然が点在しており、その発掘とともに、「くつろげる場所」や「自然とともに遊べる場所」の整備を望む声があり、地元のお土産品などの充実強化や、観光拠点の一筆書きされた統一パンフレットの作成等を望んでいます。



名取久仁春 議員

GIGA (ギガ) スクール
構想の実現

- ▶ 児童・生徒に今年度中に
PC を一人1台

GIGA スクール構想とは、教育現場において欧米に比べて遅れている ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用を計る為、全国一律の ICT 環境整備を行おうとするものである。富士見町では6月より校内のネットワーク整備に着手し、早急に1人1台のPCの選定を行い、年度内には予算化し整備する。

PCは4.5万円まで国の補助金が活用できるため、この範囲内でリースか買い取りかも含めて検討する。課題は授業等でいかに活用していくかである。



牛山 基樹 議員

「シティプロモーション」
の目指すもの

- ▶ 町民と事業者、行政職員の
協働と魅力ある発信が鍵

シティプロモーション事業の背景には、地方の急速な人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度な人口集中を是正するという目的があります。

①移住者、定住者を獲得する。そのためには、選ばれる富士見町でなければなりません。

②郷土愛を育む。それには、町民が自ら地域資源を発掘するだけでなく当事者意識を持って積極的に町に関わる気持ちを醸成することです。いきいきとした町づくりは、共に未来をデザインする町民と事業者、行政職員の協働と魅力ある発信が鍵となります。



五味 平一 議員

議会の使命

- ▶ 議会の使命は2つある

第1. 地方公共団体の具体的政策を最終決定することである。本会議や委員会での質問、質疑、修正等を通して、予算・契約・条例等の審議において最終の政策決定を行っている。

第2. 議会が決定した政策を、適法・適正に、しかも、公平・効率的に民主的になされているかを批判し監視することである。

議会が持つ2つの使命、「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を、完全に達成できるよう議会の一員として懸命に努力することが議員の職責であると考えます。



五味 仙一 議員

小学6年生、
中学3年生へ発表の場を

- ▶ 今まで努力してきた集大成を
表現できる機会を

問 小学6年生、中学校3年生、最終学年の子供たちはスポーツ系も文化系もチャント終わりにできていない。中体連も中止、今後各方面で大会や発表会の開催は計画されているか。

答 県大会はありませんが地方単位、地域単位で任意ですが開催に向けて鋭意努力している。新型コロナの感染状況にもよるが、6月末には部活動を本格化し練習を進めたい。どのスポーツか具体的ではないが8月上旬開催で準備をしている競技もある。



話かすのか —

声

議員は
その先を見ている

名取 武一 議員

国保料改定について

- ▶ 今年度の一人当たり国保料は据え置きとしているが



今年度の国保料は昨年と比べ据え置きと報じられています。しかしこの表現は正確ではありません。「平均」の一人当たり国保料は昨年と同じですが、個々には変わってきます。特に資産のない方の多くは昨年比8%前後、一昨年比11%前後の増と、「大幅」な引き上げです。これは国保料を計算する際、「資産割」を減らし、「所得割」を増やしているからです。国保料は年々増やされ続けられました。もう限界ではないでしょうか。これは国が負担率を減らしてきたことに大きな要因があります。全国知事会は1兆円の国費投入で国保料の軽減をと国に要求しています。

川合 弘人 議員

公共施設の再編 町の大きな課題に

- ▶ 求められる住民参加のまちづくり



人口の減少が全国的に進む状況下において、公共施設の再編・統廃合は、町の将来像を描く中で、大きな課題であり、創意工夫が活かされる事業です。スリム化を図りながらも、人が集い、安心して暮らすことができる、魅力あるまちづくりを進めなくてはなりません。一般的に、公共施設の中でも4割は学校施設と言われます。保育園、学校を将来的にどうしていくか。こうした議論は、住民とともに進めていくべきです。住民参加のまちづくりを積極的に進めるべきではないでしょうか。

島 正孝 議員

文化の香り高い街づくり

- ▶ さわやかな風が常に吹き渡る富士見町であって欲しい



町内のどこに立っても眺める景観は、本当に世界に誇れます。これは少し外国を旅した方々の経験です。ここに住む幸せ、語り合う喜び。

でも、日頃のほんの少しの努力と工夫とを積み重ねていかなければ、すぐに、この富士見町の景観は失われてしまいます。

お一人から何人かで、語り合い行動しながら、この富士見町を育てていきましょう。あなたとご一緒に私も頑張ります。

— 町民の声をどのように活かすか —

議員の

小倉 裕子 議員

コロナウイルス 感染症問題で見た課題

- ▶ 子どもと学校、学習を。町民と町、店、病院を繋ぐ。



必要な情報を全町民へきちんと届けることを目的に、全町を網羅する情報基盤整備を進めてきましたが、今回のコロナ問題で、更に子ども達の休校中のオンライン学習の対応が必須となりました。いわゆる GIGA (ギガ) スクール構想です。全町への対応の中に子ども達のための環境を優先して進め、どのような状況下でも町民が困らない、強い富士見町にしていくことが第一の課題です。

織田 昭雄 議員

富士見町の玄関口です 富士見駅前広場

- ▶ 行政と商工会と地元商業会がタックを組んでまちづくり



私は町の議員に認めて頂いてから富士見駅前の活性化、もっと明るい街路灯を駅前に、駅のホームにエレベーターを、ゆめひろば富士見と駅前を繋ぐ通路の整備を、観光案内所を駅舎の中に等、一般質問を数えきれないほどしていますが、未だに何一つ実現していません。街路灯の質問をしてから 13 年が経過した現在、商店街では街路灯を撤去し防犯灯を電柱に付ける決断をしました。これでよいのでしょうか？ 皆さん一緒になって昔「停車場」と呼ばれた駅前の賑わいを取り戻し希望と夢にふくらみ、光り輝く富士見を後世に残そう。